

2023年3月27日

## 第22回「造船技術者 社会人教育」受講者募集について

造船技術者社会人教育センター  
(日本造船工業会、日本中小型造船工業会、日本船舶海洋工学会)

造船技術者社会人教育センターは、大学の先生方及び関係学会のご支援をいただ  
いて、例年、「造船技術者 社会人教育」を実施しております。

本講座は、2001年4月、我が国造船業の若手技術者の技術力向上を図ることを目  
的に開講され、現在までに造船会社・船用機器メーカー・船級協会などから延べ  
4,921名の方々が受講されております。

この度、第22回「造船技術者 社会人教育」の受講者を下記のとおり募集するこ  
とといたしますので、ご案内申し上げます。奮ってご応募くださいますようよろし  
くお願いいたします。

記

### 1. 教育要領について

#### (1) 教育方式と開設コース

3回の集中講義(1日/回)及びEメールによる通信教育(演習問題1~2題/  
月)によって行います。

下記の基礎8コースと中堅技術者向け2コースの計10コースを募集いたしま  
す。

中堅技術者向けコースは、基礎コース修了者またはそれと同等の知見を有する方  
が対象です。

第1回及び第2回集中講義はオンライン開催(Zoomミーティング)、第3回集  
中講義は大阪大学(吹田キャンパス)での対面開催となります。

開設コースと集中講義の開催日は以下の通りです。

#### I. 基礎コース

コース	第1回	第2回	第3回
コース1 材料・構造力学	5/26(金)	7/11(火)	10/28(土)
コース2 流体力学	5/23(火)	7/12(水)	10/28(土)

コース 3	船体運動学 —復原性・耐航性・操縦性の基礎—	5/30(火)	7/19(水)	10/28(土)
コース 5	造船工作と生産計画	5/26(金)	7/21(金)	10/28(土)
コース 6	機関	5/27(土)	7/22(土)	10/28(土)
コース 7	船体艤装設計	5/29(月)	7/21(金)	10/28(土)
コース 8	塗装	6/1(木)	7/19(水)	10/28(土)
コース 9	商船基本計画法	5/29(月)	7/18(火)	10/28(土)

## II. 中堅技術者コース

コース	第 1 回	第 2 回	第 3 回
コース A1 構造設計	5/24(水)	7/12(水)	10/28(土)
コース A1 性能設計	5/23(火)	7/11(火)	10/28(土)

※講義の招待メール、受講時の注意点等は受講者に後日別途お知らせいたします。

※コース 4 は欠番です。

※コース 10 「機関艤装設計」コースは休講となります。

※第 3 回集中講義は対面開催を予定していますが、新型コロナウイルス感染症等の状況によってはオンラインに変更となる可能性もあります。

## III. 講義スケジュール

10:30 - 12:00	スクーリング 1 時限
12:00 - 13:00	昼休憩
13:00 - 14:30	スクーリング 2 時限
14:30 - 14:45	休憩
14:45 - 16:15	スクーリング 3 時限

### (2) シラバス (講義概要計画書)

シラバスは、WEB サイト (<https://www.sajn.or.jp/shakaijin>) からダウンロードできます。

受講前に必ず内容をご確認ください。

### (3) 講義テキスト

講義テキストは、開講前に受講者宛に送付いたします。(5月上旬発送予定)  
一部のコースでは、配布テキストとは別に、追加テキストとして指定の書籍購入  
(別途負担)が必要となる場合がありますので、必ず事前にシラバスをご確認ください。

#### (4) 成績評価

成績は、スクーリングへの出席状況及び演習問題への回答状況等を勘案し、優・良・可・修了・不可の5段階の評価を行い、受講者本人及び会社連絡責任者宛に通知いたします。

スクーリングに出席した場合のみ「出席」として扱います。

欠席の場合でも、演習問題の提出があれば回答の採点はいたします。

## 2. お申し込みについて

### (1) 募集対象

日本造船工業会及び日本中小型造船工業会の会員会社並びに日本船舶海洋工学会に所属する若手造船技術者を対象とした講義を展開いたしますが、講義の趣旨を理解した上での参加であれば受講者の要件を問いません。

例年、造船所技術者のみならず海運会社、舶用品メーカー、船級協会、構内外注業者(協力業者)等から幅広く受講いただいています。

### (2) オンライン開催に関して

講義の実施に際してはビデオ会議システム「Zoom」を利用致します。ご自身の受講環境において使用可能であることを必ず事前にご確認の上お申込みください。

Zoom 公式サポート :

<https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697-%E5%A7%8B%E3%82%81%E3%81%AB>

接続テスト用 URL: <https://zoom.us/test>

受講生側の要因によって受講に支障をきたした場合の返金対応はできかねますので予めご了承ください。

### (3) 募集人数

応募人数が10名に達しないコースについては、次年度に開講を延期する場合があります。

また、お申込み状況によっては定員を設けさせていただく場合があります。その場合は先着順の受付とし、定員を越えた方々につきましては、次年度開講の折に優先してお申込みを受け付けることといたします。あらかじめご了承ください。

### (4) 再受講

過去に社会人教育を受講された方の再受講も歓迎いたします。同一コースの再受講も可能です。

#### (5) 受講料

5万円（税込）といたします。お支払い方法等はお申込み後、別途ご案内いたします。

なお、一部のコースでは、配布テキストとは別に、追加テキストとして指定の書籍購入（別途負担）が必要となる場合がありますので、必ず事前にシラバスをご確認ください。

#### (6) 申し込み方法

WEBサイト（<https://www.sajn.or.jp/shakaijin>）の受講申し込みフォームからお申込みください。または、所定の受講申込書に必要事項をご記入のうえ、Eメールにて社会人教育センター事務局（[shakaijin@sajn.or.jp](mailto:shakaijin@sajn.or.jp)）宛にお送りください。受講申込書は上記WEBサイトからダウンロードできます。

受付締切は、2023年4月21日（金）です。

### 3. 個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、造船技術者社会人教育センターにて厳重に管理し、スクーリング等の案内・連絡、演習課題の添削、受講者相互の情報交換等を目的とした名簿共有、講義運営の改善その他講座の円滑な運営を図るために必要な最低限度の範囲で利用いたします。法令で認められている場合を除き、受講者等のご了承なく第三者には開示いたしません。

以 上

2023年3月27日

## 「造船技術者 社会人教育」の受講料改定について

造船技術者社会人教育センター

造船技術者社会人教育センターは、「造船技術者 社会人教育」の受講料について、スクーリング方法の変更に伴い、以下のとおり改定することを決定しましたので、お知らせいたします。

(従来価格) 4万円(税込) / 全3回のスクーリングをオンライン開催



(新価格) 5万円(税込) / 2回のスクーリングをオンライン開催

1回のスクーリングを対面開催

次回・第22回「造船技術者 社会人教育」より、改定後の価格となります。

今後も講義の一層の充実と円滑な運営に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

## 参考(ご案内)

# 人材開発支援助成金に関するご案内

人材開発支援助成金制度は、雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識および技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合や人材開発制度を導入し、労働者に対して適用した際に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

今年度の造船技術者社会人教育は集中講義を一部オンラインで行いますが、Eラーニングも対象となっているため、助成対象となる可能性があります。なお、対象となるEラーニングは、「一方的な講義(録画視聴)ではなく、講師から現受講中の受講生の様子が見て取ることができる」とともに、質疑応答などができる形態(同時双方向)により実施される遠隔講習もの」とされており、今回開催予定の集中講義はこれに対応したものとなっています。

助成金を受給するには、各社(事業主)が各都道府県労働局に対して、訓練開始前日の1か月前までに所定の必要書類を提出する必要があります。申請するかどうかは任意です。

本紙においては「特定訓練コース 若年人材育成訓練」に関しご案内いたします。なお、「特定訓練コース」については、他のコースと統合され、令和5年4月以降「人材育成支援コース」に変更となります。詳細については厚生労働省ホームページをご覧ください。

## 1. 特定訓練コース 若年人材育成訓練について

### 【対象者】

雇用契約締結後5年以内かつ35歳未満の若年労働者

※申請する事業主が、対象者が若年労働者であることを証明する必要があります。

### 【対象条件】

訓練(受講)の時間が10時間以上であること。

Off-JT(職場外研修)に基づき行われる訓練であること。

※2023年度の造船技術者社会人教育の訓練時間は14時間15分となります(90分×3コマ×3日+小休憩15分×1回×3日)。

## 2. 受給金額について(試算)

事業主が所定の申請を行うことで賃金助成と経費助成が受けられます。

※例えば、受講料50,000円(税込)、訓練時間14時間の場合の試算は以下となります。

※この試算は受給をお約束するものではありません

※別途、生産性要件を満たす場合は助成率の加算があります

※受給金額は審査結果等により前後する可能性があります

## 参考(ご案内)

受給例① 中小企業の通常助成率の場合		受給例② 中小企業以外の通常助成率の場合	
賃金助成	760 円 × 14h =10,640 円	賃金助成	380 円 × 14h =5,320 円
経費助成	50,000 円 × 45% =22,500 円	経費助成	50,000 円 × 30% =15,000 円
助成金受給額	33,140 円	助成金受給額	20,320 円

### 3. 助成金の申請/受給の流れ

- ①「事業内職業能力開発計画」の策定
- ②都道府県労働局へ必要書類の提出
  - ・職業能力開発推進者を選任し訓練計画を提出する
  - ・訓練開始前日の1ヵ月前までに提出
- ③労働局から申請受理の通知
- ④受講・訓練の開始
- ⑤助成金の支給申請
  - ・都道府県労働局へ必要書類を提出
  - ・訓練終了日の翌日から起算して2ヵ月以内に提出

### 4. 助成金に関する問合せ先

制度の詳細な内容は下記よりご確認ください。また、導入の際には各都道府県の労働局にご確認下さい。

造船技術者社会人教育の教育内容に関するお問い合わせは社会人教育センター事務局 ([shakaijin@sajn.or.jp](mailto:shakaijin@sajn.or.jp)) までお願いいたします。

【雇用関係各種給付金申請等受付窓口一覧(各都道府県労働局)】

<https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/index.html>

【人材開発支援助成金・申請書の様式ダウンロード】

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

【人材開発支援助成金資料(PDF)】

[001031492.pdf \(mhlw.go.jp\)](#)

以上